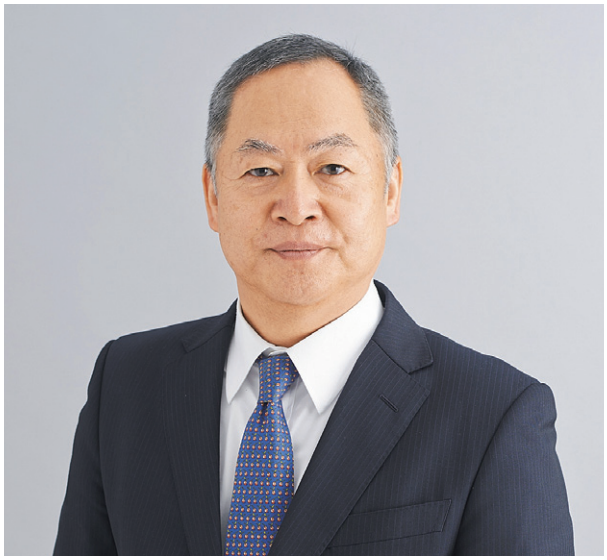
2015

会社案内

株式会社
良品計画

社長メッセージ



2014年度は、連結で営業収益2,602億54百万円（前期比18.0％増）、営業利益238億46百万円（前期比14.0％増）と最高益を更新し、中期経営計画（2014－2016）の達成に向け着実に歩みを進めた1年となりました。国内事業は売場環境の改革や店舗のスクラップ&ビルドの積極的な推進、接客力向上の取り組みが収益増に奏功しました。一方の海外事業は中心となる中国などに加え、シンガポールやマレーシアなどアセアン地域が機動力を増し、前期に引き続き営業収益は前期比64.7％増と大きく伸長しました。また、中国・成都での世界旗艦店「無印良品 成都遠洋太古里」など、各地域で新たな情報発信の拠点となる店舗を出店しました。

今後は海外事業の更なる拡大推進の実現に向けて、海外事業を「欧米事業部」「東アジア事業部」「西南アジア・オセアニア事業部」の3事業部体制に変更し、各事業部をそれぞれ取締役が運営・統括を行うことで、責任を持って業務を執行してまいります。これらにより、当社が中期経営計画に掲げる2016年度売上高3,000億円（内、海外売上高1,000億円）、経常利益350億円、ROE15%以上という目標に向け全社一丸となって邁進いたします。

また、当社が目指す「感じ良いくらし」の実現とは、生産者や消費者などすべての生活者に配慮したものづくり・サービスを無印良品として具体化することで、世界の人々に「これでいい」という理性的な満足感を感じていただくこと。この価値観のもと、世界中で今起きている様々な課題に社員ひとりひとりがそれぞれの立場で敏感に呼応し、「良心とクリエイティブ」でより良い方向に解決していくことに取り組み、世界に通用する真のグローバルプレーヤーを目指してまいります。

私たち良品計画グループは、これからも「感じ良いくらし」の実現に向けて一層の努力を重ねてまいりますので、皆さまの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社良品計画
代表取締役社長（兼）執行役員

松崎 暁

企業理念

「良品」ビジョン

「良品」には、
あらかじめ用意された正解はない。
しかし、自ら問いかければ、
無限の可能性が見えてくる。

企業理念

良品価値の探求 Quest Value
「良品」の新たな価値と魅力を生活者の視点で探求し、提供していく。

成長の良循環 Positive Spiral
「良品」の公正で透明な事業活動を通じ、グローバルな成長と発展に挑戦していく。

最良のパートナーシップ Best Partnership
仲間を尊重し、取引先との信頼を深め、「良品」の豊かな世界を拡げていく。

行動基準

1. カスタマー・レスポンスの徹底
2. 地球大の発想と行動
3. 地域コミュニティーと共に栄える
4. 誠実で、しかも正直であれ
5. 全てにコミュニケーションを

自然と。無名で。シンプルに。地球大。

無印良品について

無印良品

1980年、「無印良品」は「わけあって、安い。」をキャッチコピーに、従来の商品規格からすると少し外れてしまうような商品の企画からスタート。
「素材の選択」「工程の点検」「包装の簡略化」の3つの視点を守りながら、実質本位の商品をつくり続け、約7,000品目の商品を展開するブランドへ成長しました。
1983年に青山で1号店を出店、現在では国内や海外で店舗を展開しています。店舗環境の向上とスタッフの接客力の強化に取り組み、気持ち良くお買い物をしていただける空間を目指しています。
また、無印良品とお客様をつなぐ「MUJI passport」を導入し、お客様とのコミュニケーションの向上にも努めています。

素材の選択

おいしくて健康にも役立つ食品。着心地よく、身体になじむ衣服。使い勝手を第一に考えた生活雑貨。ふだん見過ごしがちな基本のものづくりのために素材を見直します。品質は変わらないのに、見栄えのために捨てられているもの。業務用の素材。世界中から見つけた原材料や、安価で大量に確保できる旬のものなどを活かして、低価格で質の良い商品が生まれました。

工程の点検

ひとつの商品ができるまでのプロセスを徹底的に点検する。選り分けたり、大きさを揃える手間も不必要。不揃いのままだったり、つや出しせずに仕上げたり、商品本来の質に関係のないムダな作業を省いて必要な工程だけを活かしました。規格外のサイズ、かたちで捨てられていたものも商品に。素材をムダなく活かし、コストダウンにもなる、実質本位のものづくりです。

包装の簡略化

飾らず、もの本来の色やかたちのままを大切にしたい。過剰な包装をしない。まとめて一括包装に。共通容器に入れる。シンプルなものづくりであると同時に、地球の資源をムダにせず、ごみを減らすこともできるのです。無印良品の商品はすべて、成り立ちのわけが印刷されているパッケージであっさり包まれていたり、タグがつけられているだけで、店頭に並んでいます。

商品開発

無印良品のものづくりの基本となる考え方は変わっていません。時代が変わっても、変わらない3つの視点、①素材の選択、②工程の点検、③包装の簡略化、を守りながら"商品の原点を見直す"という姿勢で実質本位の商品をつくり続けています。

無印良品が目指すのは、「これがいい」ではなく「これでいい」という理性的な満足感をお客様に持っていただくこと。つまり品質も価格も十分「これでいい」という意味です。ただ、そこに若干含まれているかもしれない不満や妥協を解消して、自信に満ちた「これでいい」を実現していきます。

販売チャネル

国内販売においては、直営店284店舗と、供給先117店舗（一般供給先・西友インショップ）の計401店舗の展開をしています。また、全国のファミリーマートと、JR東日本リテールネットの運営する「無印良品comKIOSK」などに商品供給をしています。一方海外は、現在イギリス、フランス、香港を始め、25ヶ国・地域で計301店の店舗展開をしています（2015年2月期）。

情報・物流システム

情報システムは、精度の高い単品管理に加え、顧客情報システム、補充型自動発注システムなど意思決定や行動をサポートするビジネスプロセス支援型システムの導入により、経営改革のスピードアップを支援します。また、物流システムは、商品調達から店舗供給まで一貫したロジスティクスを確立し、商品の安定・安全供給、物流コストの低減、商品流通情報の集約化と発信、店舗の効率性向上のサポートを図っています。

その他の事業

カフェ・ミール事業

Café & Meal MUJI

無印良品のカフェを展開しているカフェ・ミール事業部では、「素の食」をテーマに野菜のメニューを中心に、季節の素材やこだわりの食材をたっぷりと使った、体にやさしく食べておいしい料理、デザート、ドリンクを提供しています。

IDÉE（株式会社イデー）

IDÉE

家具・インテリア等のホームファーニシングの企画・製造・販売を展開する 株式会社イデーはオリジナル家具および雑貨、アンティーク、カーテン、ラグといった商品を展開し、物販店舗以外では空間に関わるプロデュース、コンサルティング、デザイン業務を行っています。その他、グリーン関連ビジネスなど事業展開も多岐にわたり、ライフスタイルをトータルに提案しています。

住空間事業（株式会社 MUJI HOUSE）

無印良品の家

MUJI HOUSE

株式会社MUJI HOUSEは、「家」という器を通して無印良品の考える「くらし」の提案を行っています。安全で、自由にいつまでも住み続けられることをコンセプトにし、ながく使える箱＝「スケルトン」と、暮らしの変化とともにフレキシブルに変えられる中味＝「インフィル」に分けて設計することで、家族のライフスタイルの変化に合わせて自由に間取りを変化させることを可能にしました。現在、お客様のニーズに合わせ、「木の家」（2006年グッドデザイン賞受賞）、「窓の家」（2008年グッドデザイン賞金賞受賞）を中心に販売しています。

キャンプ事業

無印良品 キャンプ場

「過剰なサービスは省きましたが、自然は豊かです。」をスローガンに無印良品では、津南キャンプ場（新潟県・津南町、1995年開場）、南乗鞍キャンプ場（岐阜県・高山市、1996年開場）、カンパーニャ嬬恋キャンプ場（群馬県・嬬恋村、2004年開場）の3つの拠点でキャンプ場を運営しています。キャンプ場運営にあたり、周辺の約70万坪（3ヶ所合計）の森林を管理するほか、ゴールデンウィークや夏休み期間、秋の連休を中心に開催されるアウトドア教室では、地元の方々に講師を務めていただくなど、周辺地域に根ざした運営を行っており、当社の社会的な貢献を担う事業の1つとして位置づけています。

「感じ良いくらし」の実現
ー良品計画は「商い」で社会に貢献します

無印良品は、「わけあって、安い」をキャッチフレーズとし、安くて良い品として1980年、西友の自社開発の経験を基に生まれました。商品開発の基本は、生活の基本となる本当に必要なものを、本当に必要なかたちでつくること。そのために、素材を見直し、生産工程の手間を省き、包装を簡略にしたことから、シンプルで美しい商品として長く人々から愛されています。

無印良品誕生以来、私たちはその想いを更に発展させ、生活者や生産者に配慮した商品・サービスを無印良品として具体化することで、世界の人々に「感じ良いくらし」を提案しています。良品計画は「商い」を通すことで、人々が喜び、美を伝播し、そして社会に貢献することができると考えています。

「感じ良いくらし」を実現する企業として企業運営では3つの約束を、そしてその中でも事業運営の根幹である商品開発では3つの視点、生産では3つの基準を掲げて実践します。

また、この価値観のもと、社員ひとりひとりがそれぞれの立場で実践している生活者の役に立つこと、社会の役に立つこと、たくさん（＝100）の取り組みを集めた「100の良いこと」の事例をWEB上で紹介しています。

企業運営3つの約束

1. 公正で透明な事業活動を通じ、グローバルな成長と発展に挑戦していく
2. 新たな価値と魅力を生活者視点で探求し、提供していく
3. 良品計画に関わる全ての人に世代を超えて持続する「感じ良いくらし」を提案していく

商品開発する上での3つの視点

1. デザインによる問題解決
2. 素材、工程の点検
3. 包装の簡略化

商品生産する上での3つの基準

1. 良品基準（品質基準）
2. 良品計画の環境、労働、安全マネジメント（取引先行動規範）
3. 使わない、制限する重点素材

良品計画グループ この1年

3階建て専用商品「縦の家」を発売

株式会社MUJI HOUSEは、4月22日、3階建て専用商品「縦の家」を発売しました。都市部の住宅密集地に建てられることを想定し、敷地の大きさや日照条件など限られた環境の中でも、広く明るく暖かく暮らすための新しい発想によるこれまでにない3階建て住宅です。

丸井吉祥寺店無印良品 リニューアルオープン

4月25日、都内では無印良品有楽町に次ぐ売場面積の大型店舗にリニューアルしました。「Café&Meal MUJI」を新たに併設したほか、住まいをもっと自由に、自分好みに編集するための様々なパーツを相談しながら選べるサービス「MUJI INFILLプラス」や、購入品をお客様好みにアレンジするスペース「MUJI YOURSELF」を導入しました。

「MUJI AWARD」を初めて海外（中国）で開催

4回目となる国際デザインコンペティション「MUJI AWARD」を開催しました。49カ国より4,824作品の応募があり、4月26日に開催した表彰式で金賞2作品をはじめ10点を表彰。審査、発表、表彰、展示のすべてを上海で行うことで、中国市場における無印良品の更なる認知向上とアジア全域での新たな才能の発掘に取り組みました。

2014年

4月 5月 6月 7月 8月 9月

睡眠サポートアプリ「MUJI to Sleep」配信開始

睡眠をサポートするアプリ「MUJI to Sleep」を、7月11日より配信開始しました。2015年2月に「MUJI to Relax」に名称変更、さらに機能を充実させ、3月までの累計ダウンロード数は65万を超えています。

「Café&Meal MUJI」監修の弁当を全国のファミリーマートで発売

10月、「Café&Meal MUJI」が監修したカレーライス弁当が全国約1万店のファミリーマートで発売されました。「バターチキンカレーライス」「辛口グリーンカレーライス」等、2015年2月までにデザートを含む、計6種を販売。素材本来の風味を活かしたメニューで、女性のお客様を中心に支持をいただいています。

新たな国内物流センターを稼働

埼玉県鳩山町に国内における新たな物流センターとして「良品計画鳩山センター」を建設、浦安センター（千葉県）を受け継ぐ形で11月17日より稼動しました。首都圏店舗への商品供給を行うほか、衣服・雑貨を中心とした海外生産地からの輸入商品の管理機能等を備えます。

カナダへ初出店「MUJI ATRIUM」オープン

11月28日、人口約260万人を誇るカナダ最大の都市、トロント市に1号店「MUJI ATRIUM」をオープンしました。
「MUJI ATRIUM」は商業施設が連なる主要交差点に位置し、ショッピング客や観光客、学生たちで連日賑わっています。カナダへの出店により無印良品の海外事業は25ヵ国・地域に拡大しました。

2014年度グッドデザイン賞「金賞」「未来づくりデザイン賞」を受賞

2014年度グッドデザイン賞において「無印良品 キッチン家電シリーズ」が「金賞」を受賞しました。シンプルな機能でわかりやすく、長く愛着を持って使い続けられる家電が欲しいというお客様の声にお応えし、キッチンやダイニングを取り巻く環境に調和する暮らしの道具としての姿を目指したキッチン家電シリーズです。
また、「無印良品 Found MUJIの活動」が「未来づくりデザイン賞」を受賞しました。Found MUJIとは、無印良品のコンセプトのもと世界中から普遍的な日用品を見つけ探し出す活動です。2011年には、東京・青山の無印良品1号店を「Found MUJI青山」の専門店としてリニューアルし、これらの活動から集めた様々な商品を紹介しています。

2015年

10月　11月　12月　1月　2月　3月

世界旗艦店「無印良品 成都遠洋太古里」オープン

12月12日、中国四川省成都市に世界旗艦店となる「無印良品 成都遠洋太古里」をオープン。中国国内では初となる飲食業態「Café&Meal MUJI」および「IDÉE」の売場を併設しました。「感じ良いくらし」の実現をコンセプトとして、衣・食・住のすべての分野で商品・サービスを提供し、歴史ある成都の地から世界に向けて情報を発信していきます。

2015年日本版「働きがいのある会社」のランキングで14位にランクイン

Great Place to Work® Instituteが世界共通の基準で調査分析を行う2015年日本版「働きがいのある会社」のランキングの「従業員1,000人以上」部門で14位にランクインしました。Great Place to Work® は、「働きがい」に関する調査・分析を世界40カ国以上で実施している専門機関。「働きがいのある会社」ランキングは、世界最大級の従業員意識調査・分析であり、企業ブランド価値の向上をはじめとする様々な効果をもたらすものとして、高い評価を受けています。日本での発表は2007年より行われ、今回が第9回目。実際に従業員へのアンケートを行い、世界49カ国以上で、同じ基準に基づきランキングが発表されています。

GREAT PLACE TO WORK® Best Workplaces 2015 Japan

沿革

1980	12月	西友のPB商品「無印良品」誕生（家庭用品9品目・食品31品目）
1983	6月	「無印良品青山」（103m^2）直営1号店出店
1985	9月	無印良品事業部設立
1989	6月	株式会社良品計画設立（資本金1億円）
1990	3月	西友から「無印良品」の営業権譲受
1991	7月	ロンドン1号店出店（英国リバティ社とパートナーシップ契約）
	11月	香港1号店出店（1998年閉鎖）
1993	3月	株式会社アール・ケイ・トラック設立
1994	3月	RYOHIN KEIKAKU EUROPE LTD.設立
	12月	新潟物流センター開設
1995	4月	シンガポール1号店出店（1998年閉鎖）
	7月	「無印良品津南キャンプ場」オープン
	8月	株式店頭登録
1996	7月	資本金67億6,625万円に増資
	12月	福岡センター開設
1998	9月	神戸センター開設
	12月	東京証券取引所市場第二部上場、浦安センター開設
1999	10月	「無印良品comKIOSK」展開（JR東日本リテールネット運営）
2000	5月	ムジ・ネット株式会社設立
	8月	東京証券取引所市場第一部指定
2001	3月	MUJI（HONG KONG）CO.,LTD.設立
	11月	「無印良品有楽町」出店、「無印良品難波」出店
2002	11月	アイルランド1号店出店
2003	11月	韓国1号店出店
	11月	住空間事業「無印良品の家」展開
2004	4月	台湾1号店出店
	7月	無印良品 嬬恋キャンプ場オープン
	10月	無印良品の家 有楽町店オープン
	12月	イタリア1号店出店
2005	7月	中国本土（上海）に1号店出店
	11月	ドイツ1号店出店
2006	4月	シンガポールに「MUJI Global Sourcing PTE.LTD.」設立
	5月	スペイン1号店出店
	8月	株式会社イデーの事業譲受
2007	1月	欧州統括子会社「MUJI EUROPE HOLDINGS LTD.」設立
	11月	米国1号店出店
2008	3月	「MUJI to Go Hong Kong International Airport」オープン
	5月	米国旗艦店「MUJI Times Square」オープン
	7月	「MUJI新宿」オープン
2009	9月	「無印良品池袋西武」移転リニューアルオープン
	10月	インドネシア1号店出店
2010	3月	ポーランド1号店出店
	12月	「無印良品」誕生30周年
	12月	ポルトガル1号店出店
2011	6月	「Café & Meal MUJI 南青山」オープン
	10月	マレーシアに「MUJI（MALAYSIA）SDN. BHD.」設立
	11月	「Found MUJI 青山」オープン
2012	4月	マレーシア1号店出店
	11月	「MUJI Retail（Thailand）Co.,Ltd.」設立
2013	1月	クウェート1号店出店
	4月	「無印良品グランフロント大阪」オープン
	11月	オーストラリア1号店出店
2014	11月	カナダ1号店オープン
	11月	鳩山センター開設
	12月	世界旗艦店「無印良品成都遠洋太古里」オープン

1980年代

●1983年
無印良品青山

1990年代

●1995年
無印良品津南キャンプ場

2000～2010年代

●2001年
無印良品有楽町

●2008年
MUJI Times Square

2011年以降

●2011年
Found MUJI 青山

●2013年
無印良品
グランフロント
大阪

会社概要

会社名	株式会社良品計画　RYOHIN KEIKAKU CO., LTD.
所在地	〒170−8424 東京都豊島区東池袋四丁目26番3号
電話	03−3989−4403（総務人事担当）
ホームページ	http://ryohin−keikaku.jp/
設立	1989年6月（登記上1979年5月）
資本金	67億6,625万円
決算期	2月末日
年商	2,602億円（2015年2月期良品計画グループ営業収益）
従業員数	6,160名（パートタイム社員4,620名を含む。2015年2月期）
関係会社	株式会社アール・ケイ・トラック／株式会社MUJI HOUSE／株式会社イデー MUJI EUROPE HOLDINGS LIMITED／RYOHIN KEIKAKU EUROPE LTD. RYOHIN KEIKAKU FRANCE S.A.S.／MUJI ITALIA S.p.A.／MUJI Deutschland GmbH MUJI U.S.A. LIMITED／MUJI CANADA LIMITED／MUJI（HONG KONG）CO.,LTD. MUJI（SINGAPORE）PRIVATE LTD.／MUJI（MALAYSIA）SDN. BHD.／MUJI Korea Co.,Ltd. 無印良品（上海）商業有限公司／台湾無印良品股份有限公司／MUJI Retail（Thailand）Co.,Ltd. MUJI RETAIL（AUSTRALIA）PTY LTD／MUJI Global Sourcing Private Limited 愛姆吉斯（上海）貿易有限公司

（2015年2月期）

役員

代表取締役会長（兼）執行役員	金井 政明	社内監査役	槙田 隆史
代表取締役社長（兼）執行役員	松﨑 暁	社外監査役	松井 仁
常務取締役（兼）執行役員	小森 孝	社外監査役	服部 勝
取締役（兼）執行役員	鈴木 啓	社外監査役	原 邦明
取締役（兼）執行役員	岡崎 令	常務執行役員	亀谷 哲夫
取締役（兼）執行役員	山本 祐樹	執行役員	大木 宏人
取締役（兼）執行役員	清水 智	執行役員	萩原 由美子
社外取締役	酒巻 久	執行役員	武内 健治
社外取締役	遠藤 功	執行役員	齋藤 陽司
社外取締役	伊藤 俊明	執行役員	齊藤 正一

（2015年6月1日現在）

ADVISORY BOARD

Advisor　小池 一子　　杉本 貴志　　原 研哉　　深澤 直人

主な事業

「無印良品」を中心とした専門店事業の運営／商品企画／開発／製造／卸しおよび販売

主な事業所および店舗

本部
東京都豊島区東池袋四丁目26番3号

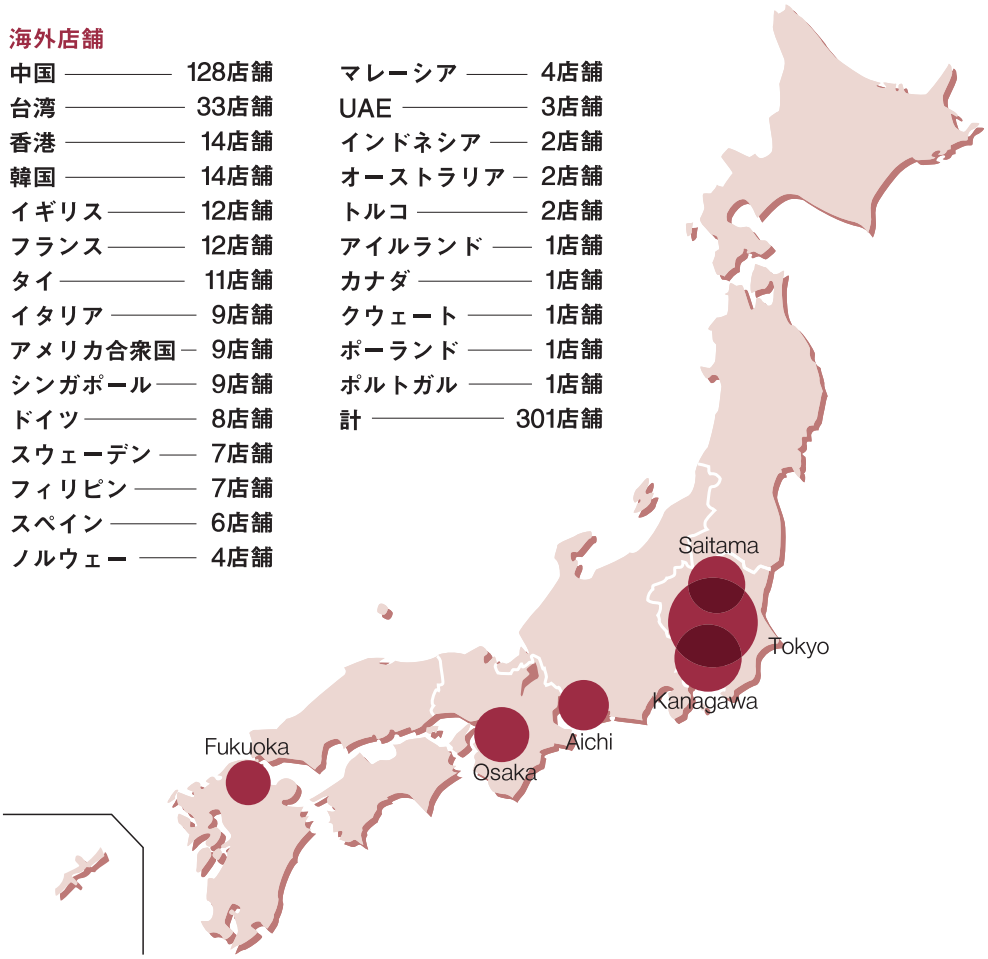
物流センター
鳩山（埼玉）　神戸（兵庫）
福岡（福岡）　長岡（新潟）

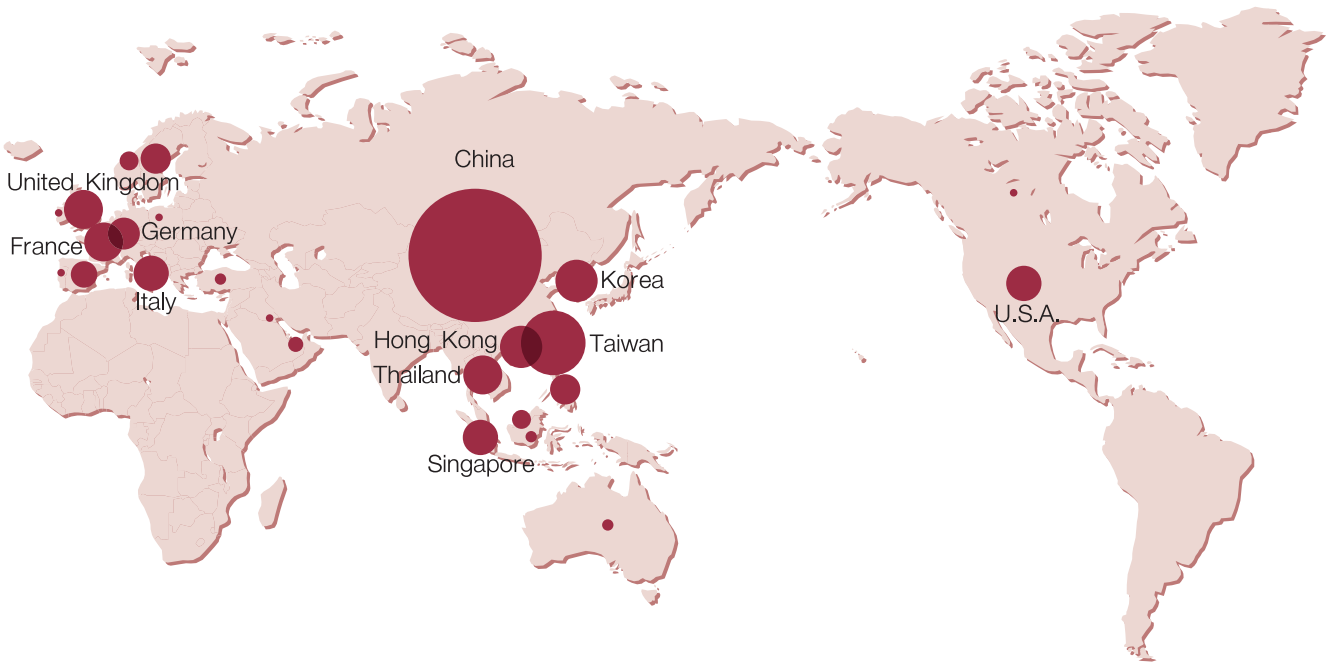
国内店舗
直営店 ―― 284店舗
LS・西友インショップ
―― 117店舗
計 ―― 401店舗

キャンプ場
津南（新潟）　南乗鞍（岐阜）
嬬恋（群馬）

海外店舗

中国	128店舗
台湾	33店舗
香港	14店舗
韓国	14店舗
イギリス	12店舗
フランス	12店舗
タイ	11店舗
イタリア	9店舗
アメリカ合衆国	9店舗
シンガポール	9店舗
ドイツ	8店舗
スウェーデン	7店舗
フィリピン	7店舗
スペイン	6店舗
ノルウェー	4店舗
マレーシア	4店舗
UAE	3店舗
インドネシア	2店舗
オーストラリア	2店舗
トルコ	2店舗
アイルランド	1店舗
カナダ	1店舗
クウェート	1店舗
ポーランド	1店舗
ポルトガル	1店舗
計	301店舗

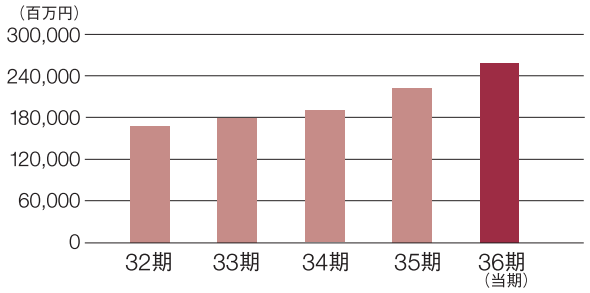




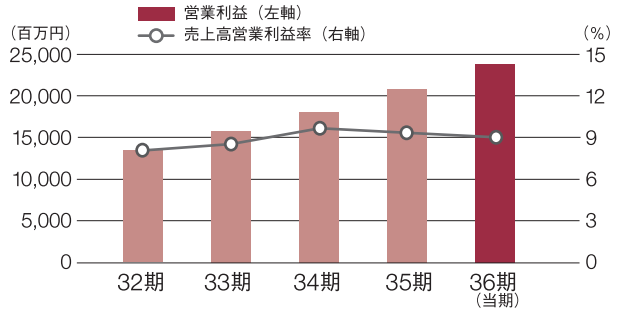
（2015年2月期）

財務データ（連結）

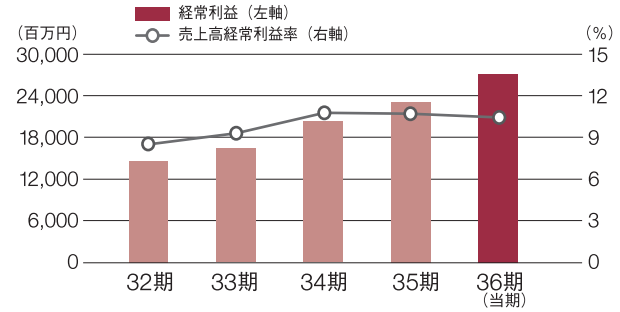
営業収益



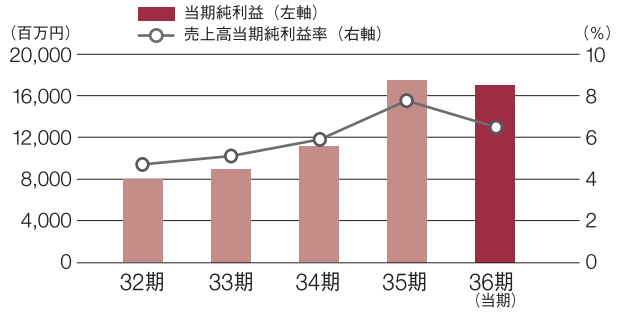
営業利益／売上高営業利益率



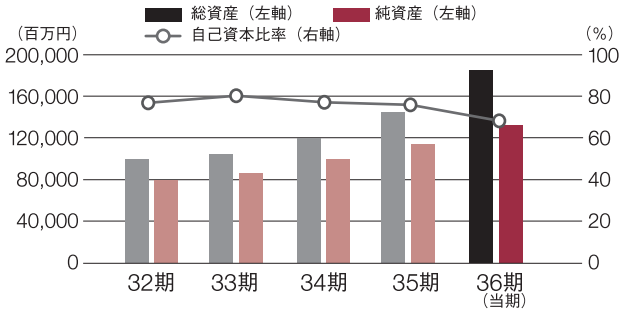
経常利益／売上高経常利益率



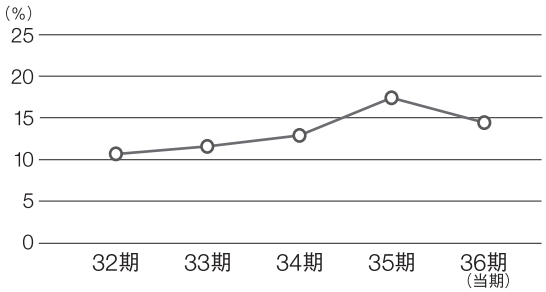
当期純利益／売上高当期純利益率



総資産／純資産／自己資本比率



自己資本当期純利益率（ROE）



数字で見る良品計画グループの今

海外売上高比率

29.6%

アジア地域、欧州地域、その他地域に分かれており、特にアジア地域の売上構成比が多くを占めています。

海外店舗増加率

18.0%

2014年2月期255店舗から2015年2月期301店舗へ主に直営店舗を中心に46店舗増加しました。

女性管理職（良品計画）

158名

国内直営店舗を含む女性管理職は158名で管理職全体の34%を占めています。

MUJI passport

337万ダウンロード

2013年5月にスタートしたMUJI passportは累計337万ダウンロード、店舗やネットストアでのお買い物時に延べ約2,050万回ご利用いただいています（国内）。

株式会社 良品計画　〒170-8424　東京都豊島区東池袋4丁目26番3号
http://ryohin-keikaku.jp/